令和8年度　第2回見附市環境審議会　会議概要

〇議事日程
　令和8年11月11日（火）　午後1時 30 分開会　午後5時閉会

〇会場
　見附市役所　2階　201会議室

〇出席者
　見附市環境審議会委員 9 名（委員総数 12 名）
　事務局（都市環境課）5名

〇欠席者
　見附市環境審議会委員3名

1．開　会

　見附市環境審議会委員定数 12 名中 9 名の出席

　→過半数を超えているため　見附市環境審議会規則第5条2項により審議会成立

2．開会あいさつ

　〇　都市環境課長あいさつ

　〇　会長あいさつ

3．議事

　第2次見附市環境基本計画　令和8年度事業計画進捗報告　について

事業計画№1 【自然環境】 体験型交流事業の開催数
　目標は年間6回開催。 5，7，9月に　小栗山にて15組56人の参加があった。

事業計画№2 【生活環境】 公共下水の普及
　令和6年度から計画的に進めてきた未普及対策を概ね完成した。

現在は、この期間中に発生した本所1上新田町、柳橋町などの要対応の件について対応している。

事業計画№3 【生活環境】 空き家の適正管理

特定空き家の認定件数73件、解消件数58件、未解決15件については年度当初と変更なし。

事業計画№4 【快適環境】 耳取遺跡の保存活用事業の推進

予定通り4，6，8月に保存活動を、9月に「耳取なつまつり」開催した。

「耳取なつまつり」の来場者400名。

事業計画№5 【快適環境】 市民との協働による河川の清掃・美化活動

年度当初の計画どおり4，6，7,9月の4回を実施した。

事業計画№6 【循環型社会の構築】ごみ総排出量の減量化

9月1日現在で4，921トン、前年同月比1．89％増。

事業計画№7 【循環型社会の構築】環境情報誌発行については、都市環境課から発行の「エコみっけ」を、各月で 5，7，9月に発行。 11，1，3月発行予定。

事業計画№8 【循環型社会の構築】年間最終処分量の減量化

10月末までに最終処分場に持ち込まれた最終処分量820トン。

事業計画№9 【循環型社会の構築】全市一斉クリーン作戦参加人数

令和8年度クリーン作戦は春 4/12 、 秋 10/18 に実施。

春・秋合計で 参加者1，454人、回収量1，381K。

事業計画№10 【地球環境】コミュニティーバスの年間利用者数

8月末時点で86，309人。昨年同月より約8，000人増。

事業計画№11 【地球環境】環境負荷の少ない自然エネルギーの普及促進

取組指標としては「新エネルギー補助金申請数」を挙げている（太陽光発電設備、V2H、エネファーム、ペレットストーブ、定置型蓄電池）。

10月末時点で 申請件数 合計14件、補助額2，480，000円。

令和8年度予算（4，390,000円）の 56．5％。

事業計画№12 【参加行動】地域の環境教育・学習の場として体験学習

実施回数 ： まちづくり課4回、建設課21回の開催報告。今後（冬期間）も あと数回の

開催を予定しており、年間の開催回数目標である25回を達成する見込み。

事業計画№13　【参加行動】事業者の環境活動への支援

「イベント開催による団体の活動紹介」として8月9日（日）ネーブルみつけにて「エコアクション in みつけ」を開催。

来場者約1，800人（R5・1,395 人、R6・1,328 人、R7・1,650 人）

＝＝　質疑応答　＝＝

意見・質問 ①　公共施設への太陽光発電設備の設置について市の考えを聞きたい。

平成22－27に公共施設に設置された太陽光発電設備については老朽化が進み、故障や撤去の際には処分が大変で費用も掛かるとのことである。このためその後は公共施設へ太陽光発電設備が設置されないとも聞くがいかがか？

回答 ：　平成に（主に小中学校やふるさとセンター）に設置された太陽光発電設備については指摘された通り老朽化が進んで廃止 ・ 撤去が検討される設備もあるが、令和7年度には中央公民館へ新規で太陽光パネルを設置するなど、設置検討も進んでいる。

意見・質問 ②　軽量で曲げることも可能なペロブスカイト太陽電池の実証実験が新潟大学の工学部で行われているとのこと。最先端の技術を知り、良いものは取り入れていかれるように周知したい。

回答 ：　新潟大学というよりも、現在は一研究室の実証という段階です。

見学は可能とのこと。

意見・質問 ③　事業計画№11の新エネルギー設置補助について、令和8年度の進捗報告の中で10月末時点で申請件数14件とのことであった。14件の内訳を聞きたい。

回答 ：　太陽光発電設備設置・6件、蓄電池設置・7件、 V2H（電気自動車等充給電設備）・1件の申請。

意見・質問④　事業計画№3の管理不全な状態（特定空き家）の未解決15件とのこと。

どのような背景があって解消が出来ないのか。

回答 ：　倒壊の心配があり、その場合周囲に被害が出ると思われる危険な空き家について特定空き家の認定をしている。

所有者、 管理者、 相続人などへ適正管理していただきたい旨の案内を送る、除

却の際には補助金の支給などの制度も用意しているが、相続放棄などにより管理者がいないなどのケースもあり、解消は非常に困難である。現在、市内の特定空き家のうち1件について行政代執行を検討中。

意見・質問⑤　事業計画№9の全市一斉クリーン作戦について令和11年度（最終年）の目標は参加者3，000人だが、令和7年度実績1，509人、令和8年度の進捗報告では1，454人とのこと。開催が年に2回となると参加者数を増やす手立てがないように思うがどうお考えか？

回答 ：　市内一斉のクリーン作戦では指摘されたとおり目標の3，000人を達成は困難。全市同日一斉とせず、活動月間などに清掃活動をサポートするなど検討が必要と考える。

意見・質問⑥　環境基本計画に示された令和11年度の目標値について、今回の進捗報告の中でも達成率が目標値の半分程度であるもの、達成の見込めないものがある。 数値目標について市の考えをお聞きしたい。

回答 ：　必達という意味合いではなく、あくまでも努力目標と考える。

意見・質問⑦　見附市の公共下水のメンテナンス状況についてお聞きしたい。

回答 ：　まち中は初期に下水道管の敷設が行われたので老朽化が進んではいるが、令和5年度に行われた緊急点検では安全性は確認された。

公共下水の管は土中の深い位置にあるので全部入替は困難であるが、 老朽化したり破損したりした下水道管を地面を掘り起こさずに内側から補強 ・再生するライニング（更生工法）を検討しているとのこと。

4．視察

長岡市「雪国対応の太陽光発電実証実験」

トキと自然の学習館　（長岡市寺泊夏戸2829）

フレキシブルパネル、ソーラーカーポート、傾斜架台等の見学

5．閉　会